

## ✧ 海外ニュース ✧

イギリス 2022年4月13日 Highways Magazine

### ■ スコットランド国立交通局は、コロナ禍後を見据えた事業の見直しを実施

Transport Scotland carries out major post-COVID operational review

幹線道路での事故事象に対応する Multi-Agency Response Team (MART) は、コロナの流行を境に、現場に出向く作業からリモート・ワークに移行することを支援する、さまざまなツールを導入してきた。

2020年11月にカナダ IBI グループが提供する事故渋滞情報提供アプリ Travel-IQ を導入し、2021年4月にノルウェー F24 Nordics 社が提供する事故管理ソフトウェア CIM の試験運行を実施した。その他、要救助者の正確な位置を3単語で伝えるアプリ What3Words 等が導入される予定である。

イギリス 2022年4月13日 Highways Magazine

### ■ テムズ川下流域横断道路計画 (Lower Thames Crossing) からの二酸化炭素排出量は極めて少なくなると主張している

Thames tunnel boss makes new CO<sup>2</sup> claim National Highways is set to claim a huge fall in projected traffic emissions from the planned Lower Thames Crossing (LTC), the project's boss has said.

イングランド地方の高速道路を運営する国営企業 National Highways のある責任者は、計画中のテムズ川下流域横断道路計画からの二酸化炭素排出量が約80%減少されると主張している。これは現在の英政府の公式排出量予測モデル (EFT) は、2021年の脱炭素化交通計画でガソリン車とディーゼル車の販売を終了する計画の結果、自動車保有台数に変化が生じると予想しているが、考慮されていないことに加え、評価に用いる基準値に関し、2016年時点では二酸化炭素598万トンからの削減量を算出しているが、2020年では276万トンとしており、National Highways は二酸化炭素削減量を過大に算出しようとしているのではと、テムズ川下流域横断道路計画推進グループの議長は述べている。

ドイツ 2022年4月13日 Verkehrsrundschau

### ■ ファクトチェック：速度制限によってアウトバーンでどのくらいの燃料節約となりますか？

Faktencheck : Wie viel Sprit spart ein Tempolimit auf der Autobahn ein?

2021年にドイツに輸入された原油の35%はロシアからのものである。ロシア石油への依存度をいかに減らすことができるかが、現在再び議論されている。提案されていることの1つは、高速道路の速度制限を低減することである。これはどのくらい効果があるだろうか？

答えは、クルマは速く走れば走るほど、より多くの燃料を必要とするため、速度制限をすることで燃料消費量を減らすことができますが、実は自動車の燃料消費は1.5～4%程度しか下がりにません。

米国 2022年4月15日 ITS International

### ■ ヴァージニア州交通局は、Iteris社とITS（高度道路交通システム）の契約を締結。コネクテッドカーおよび自動運転車のプログラム支援を含む広範なサービスをカバーする。

VDoT hands Iteris ITS deal. Three-year contract covers range of services including C / AV programme support

ヴァージニア州交通局 (VDOT) は、Iteris社とITS（高度道路交通システム）契約を締結した。コネクテッドカーおよび自動運転車のプログラム支援を含む広範なサービスが含まれる。同社は、交通システムの運営と管理 (TSO&M) において常時対応が可能な技術および支援組織体制を準備し、コネクテッドカーおよび自動運転

車のプログラム支援と同様に ITS 計画を提供する。また、データ共有を目的としたシステム統合と携帯アプリの開発を行うほか、交通運営サービス、交通状態の分析と安全対策、その他関連支援サービスを実施する予定である。

ドイツ 2022年4月15日 FAZ

### ■ 高速道路走行 無人運転で

Auf dem Highway – ohne Fahrer

ダイムラートラックは自動運転トラックによる高速道路での無人運転走行の実現に向けて取り組んでおり、当初は米国のトクロボティクス社と共同で米国での実施を目指す。トラックメーカーが高速道路での自動運転の開発に取り組んでいるのは、都市交通に比べて長距離道路運転が多く、予測計測が容易なためである。また、米国市場を目指すのは、インフラの完備性、長距離のルート、規制環境においてヨーロッパより優位にあるためである。現在は完全な無人運転ではなく、走行の初期と終了時に運転操作をさせるものであるが、それでも不注意による交通事故は大幅に減ることになる。また今深刻な運転手不足への最善対応策にもなる。

米国 2022年4月18日 Fulton County Expositor

### ■ オハイオ・ターンパイク、有料道路の料金収集システム等を継続的に近代化

Ohio Turnpike continues tolling modernization

オハイオ・ターンパイクらは、舗装などの道路構造物の改良や、自動交通記録装置の設置等を行うとともに、有料道路の料金収受システムを改善することで、利便性を向上させることを計画している。来年の同時期には、E-ZPass（有料道路の電子料金徴収システム）を利用すれば、241 マイルの長さの距離を高速走行で車を停止させることなく通行できるようになる見通しである。20 カ所のインターチェンジで、新たな電子機器を設置し、有料高速道路の料金自動収受機およびカメラ等が設置される予定である。その他 WIM（走行車両重量計測）システムが利用される見通しである。

ドイツ 2022年4月19日 Süddeutsch Zeitung

### ■ デジタル・ミラーによる視認性の改善

Digitale Lkw-Spiegel verbessern die Sicht

トラック運転者にとって、最も大きな心配事は「死角」である。歩行者や自転車に加え、時には自動車も視野から消えてしまう。交通業界団体は、トラック、ゴミ収集車、バス、バンの右折時に事故が多いと警告している。現在 3.5 トンを超えるトラックは、市街地では歩行者の速度でのみ右折が許可されている。こうした規制は効果を上げているが、信頼性をより増すために、3年前にメルセデス社大型トラックに導入されたのが、電子外装ミラーである。これまでのミラーの代わりに、カメラを運転席上のブラケットに取り付ける。カメラは5台で大きな視野角を有し、隠れる部分をなくした。

イギリス 2022年4月20日 World Highways

### ■ 自動運転車がイギリスで許可される見通し

Self driving cars for the UK. Self driving cars will be allowed in the UK

英国では高速道路に関する法律が改正され、自動運転車の走行が許可される見通しである。この法律改正では、運転する人の責任が新たに定義される。計画では、車を運転する人が映画を観るなど、運転に関係ない画像を車載式ディスプレイで鑑賞することが許可されるものの、携帯電話の利用などは違法のままとなる。また、高速道路の出口に近づき自動運転が終了する際には、運転者は自分で車体を制御する必要があることに加え、必要

なときに運転者によるマニュアル操作に切り替えることになる。新しい法律では、自動運転の際に起こった事故の責任は運転者ではなくて保険会社が負うことになる。なお、自動で速度を一定に保つクルーズ・コントロールや、オート・スタート/ストップ、レーン・トラッキングなどの現行技術は、自動運転技術には含まれない。

政府は昨年、時速 37 マイル（時速 59 キロ）まで同じ車線で自動運転を可能にする、自動車線維持システム（ALKS）技術を搭載した車両を、自動運転技術の最初の導入例とする可能性を示唆しており、渋滞中の高速道路等で低速走行する車両から開始される見込みである。

スペイン 2022 年 4 月 26 日 Cinco Dias

### ■ スペインの Abertis 社がフランスにおける道路運営権の契約期間を延長するためにマクロン・フランス大統領に投資計画案を提示する予定

Abertis enviará un plan inversor a Macron para extender sus concesiones en Francia

フランス大統領エマヌエル・マクロン氏の再選によりスペインの Abertis 社が、フランスにおける高速道路運営権の契約期間を延長することが確実となった。これは、同社にとって別の国々の市場を開拓する以上に優先順位の高い案件であった。Abertis 社は、フランスにおける系列会社である Sanef 社が建設・運営する高速道路事業に引き続き関与し、投資を続ける予定である。昨年（2021 年）は、フランスのゴール地方の道路収益のうち 35% を Abertis 社が回収し、その額は 17 億 7 百万ユーロだった。

イギリス 2022 年 4 月 26 日 Highways Magazine

### ■ イギリス初の自動運転バス（低速走行用）がスコットランドで試運転を開始する

UK's first autonomous bus (running late) starts road trials in Scotland

英国で最初の大型自動運転バスが今週、プロジェクト CAV Forth の一環としてスコットランドで路上試運転を開始する。今後 2 週間にわたり、乗客を乗せずに、自動運転の路上試運転が行われ、今夏の本格運用に向けて準備される。これに先立ち、この他にもバスの自動運転の試運転は、2019 年の Highways' Road Expo event における技術開示に続いて 2020 年に実施される予定であったが、少し遅れて行われている。なお、大型バス自動運転実施計画の予算額は 610 万ポンドで、乗客を運ぶ自動運転の新技術として本年後半に実用化される予定である。

米国 2022 年 4 月 28 日 CDL Life

### ■ ミシガン州の州間高速道路で計画されている自動運転車専用車線の開発支援

Self-driving vehicle lane planned for major Michigan interstate

ミシガン州交通局は、自律走行車のための道路インフラを専門とする Google 系の新興企業 Cavnue 社と提携し、デトロイトとアナーバーの間を走る州間高速道路 94 号線（I-94）の約 40 km を範囲とする 1 車線を対象に、自動運転車専用車線を支援するするインフラと技術的な改良を行う計画を 2020 年に発表している。今般、新たにフォードらより 1 億 3,000 万ドルの出資を受け、Cavnue 社はフォードの自動運転技術を活用し、接続車両との通信に必要なデジタルインフラの開発を加速させることを支援していく。

韓国 2022 年 4 月 29 日 Korea Biz Wire

### ■ 韓国高速道路公社、バングラデシュ・パドマ橋の運営管理事業を契約締結

Korea Expressway Corp. Inks Deal to Manage Padma Bridge in Bangladesh

韓国高速道路公社は国営企業として初めて、国外で道路運営と管理を行う契約を結んだ。1,000 億ウォン（7,870 万米ドル）の契約金で、バングラデシュのパドマ橋（道路・鉄道の多目的架橋）の建設契約を 6 月までに締結する予定である。橋は 6.2 km、建設費総額は 3 兆 6,000 億ウォンである。契約条件として、韓国で使われている

プライベート方式の支払いシステムや高度交通管理システムを橋の運営に使用する予定である。この橋の建設で、バングラデシュの首都ダッカとインドのカルカッタの間の走行時間が4時間以上短縮される見通しである。なお5月末までに1,000億ウォンの追加契約を結ぶ予定である。

オーストラリア 2022年5月2日 Smart Brief

### ■ 豪トランスアーバン、有料道路の交通量がコロナ禍前の水準に回復

Transurban CEO discusses toll traffic rebound

トランスアーバンによると、コロナ流行後にビジネスや消費活動が戻って来てから有料道路の交通量はオーストラリアで完全に回復し、米国ではほとんど通常レベル（以前に比べ10%減）に戻ったとの報告がある。さらに貨物輸送はコロナ流行前より7%増加している。

米国 2022年5月3日 Smart Brief

### ■ ルイジアナ州政府委員会、電気自動車とハイブリッド車にも道路通行料を課する法案を成立

Louisiana House committee passes bill that could impose usage fees on electric, hybrid vehicles

ルイジアナ州の運輸・高速道路および公共事業委員会は、電気自動車とハイブリッド車の両方に、道路の年間利用料を州所得税申告の際に徴収することにした。税務申告で、所有する電気自動車とハイブリッド車の台数を申告させ、平均的な自動車の走行距離から割り出した1ガロン当たり20セントの課税を車の種別を問わず実施する。

イタリア 2022年5月3日 Il sole 24 ore

### ■ 高速道路の工事現場：渋滞の原因となり、解決すべき長い障害物

Cantieri in autostrada, un nodo lungo da sciogliere

イタリアのインフラおよび持続可能交通大臣エンリコ・ジョヴァンニニ氏は、雑誌Quattroruoteとのインタビューで、夏季に行われる道路工事による混乱を軽減する一方で、工事実施の必要性についても強調し説明した。道路工事がもたらす多大な不便と渋滞は夏に向けての課題であるが、旅行者増加のため解決が難しい。他方で同氏は、工事会社等に特に8月の連続休暇での工事実施を避け、可能であれば別の時期に延期するように指導しているという。またこれに関連する話題として、イタリア高速道路会社(Aspi)は、自動車が工事渋滞に巻き込まれた場合に、道路の距離と延滞時間によって交通利用料の払い戻しをする措置を実施している。

イギリス 2022年5月4日 New Civil Engineer

### ■ ストーン・ヘンジ・トンネル | 新たな諮問に先立ち、二酸化炭素排出量推定値の減少を報告

Stonehenge Tunnel | 'Decrease' in estimated carbon emissions reported ahead of fresh consultation

National Highways 社が発表したA303道路の環境および運営状況が、2018年当初に計算された状態よりも良好であるという見解に対して、運輸大臣のGrant Shapps氏は、別の意見がないかフィードバックを募っている。また同大臣はトンネル計画等を見直し、より距離の長いトンネル建設計画の可能性を模索している。National Highways 社によると、二酸化炭素の排出量が全体的に減少する中で、道路建設に伴う温室効果ガスの排出も少なく見積もられるとのことである。また、同大臣はこの道路建設計画自体に違う論点を提起していて、環境と脱炭素化の流れの中で、政府の取組みと行政的観点から計画を見直したい考えだ。